

今回は、1年生のオンラインセミナー 第2回 の報告です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学online」

今年度は、例年夏休みに行っているフィールドワークに代わって、オンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の27企業と生徒が意見交換を行い、各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞きました。

各企業と生徒の交流について、第1回から第27回までシリーズで紹介します。

◇ 第2回 郡上観光 株式会社

◆観光サービス業

郡上観光(株)では、大滝鍾乳洞と郡上八幡「紙刃楽(しばらく)」を運営しています。大滝鍾乳洞では、東海地区最大級の石灰洞窟を中心に、釣り堀や流しそうめん等を楽しめるレジャー施設です。「紙刃楽(しばらく)」は、昨年郡上八幡の街中にオープンした刃物と美濃和紙のお店です。



| | | |
|------|-------|--|
| SDGs | 今後の目標 | |
|------|-------|--|

◆オンラインセミナー「関ジモト大学online」に参加した生徒の感想

- ・観光業で大切なことは「その町の好きなのところを伝えること」。つまり、「自分たちがその町を好きであること」が第一条件であるということを知り、なるほどなと思いました。自分自身がその町を好きになることで、町の良いところがたくさん見えてくるのだと思います。そして、その良さを伝えることで、お客さんに町を好きになってもらえるのだと思いました。それでこそ観光業が成り立つのだなと感じました。
- ・ガイドをするときには、外国語をあまり使わないようにして、言葉が通じたときの喜びを感じられるようにするという事を知って驚いた。再訪してもらうためには、あえて一度で郡上を満喫してもらえないということも、なるほどなと思いました。若い人に地元を好きになってもらって、積極的にボラン

ティアに参加してくれるような環境を作っているということに感心しました。

・私が感心したのは、観光業は地元の方と他の地域の方をつなぐパイプの役割をしているという考え

方です。ただ、その地域の良いところをアピールするのではなく、人と人が繋がれるようにすると

いう考え方は自分にはなかったので、感動しました。

・郡上では、郡上を好きな人だけが住んでまちづくりをすればいいという考えであることに驚きました。

普通は、いろいろな人来てもらいたいと考えと思うのに、変わった価値観だと思ってびっくりし

ました。でも、郡上を好きな人が住んで、その人たちが若い人も含めてまちづくりに参加していくこ

とで、将来につながるのだと思いました。私はまだ郡上に行ったことがないので、今日学んだこと

を生かして楽しんでみたいです。